

Topic 01 教育実践研究Ⅰ「生徒指導領域実習」

生徒指導領域実習では、ストレートマスターの1年生が、清水が丘分校、フレンドリーあいばる大江教室、本荘小学校フレンドリーオンラインで7日間の実習を行いました。今回の実習では、現場でのフィールドワークを通して、生徒指導力を中心に専門的職業人としての教育実践力の高度化を図ることを目的としています。授業を観察するだけでなく授業も行い実践的に学ぶことができました。本荘小学校では画面の向こうの児童に向けて、興味をもって学習してくれるように工夫を重ねて授業を行いました。

また10月3日には清水が丘分校の運動会にも参加しました。久しぶりに会う生徒と笑顔で話をしたり、力を合わせて競技を楽しんだり気持ちのよい汗を流すことができました。



【参加した学生の声】

一見明るい印象の子どももそれぞれに様々な事情を抱えていると感じた。一人一人をよく理解し、臨機応変に対応することも大切なのだと学びました。とても良い体験となりました。

Topic 02 くもとデジタル作品コンテスト

【テーマ】「しあわせ」と「これからの社会」をデザインする

熊本大学教職大学院が主催する本コンテストは今年で5回目を迎えます。

毎年、ICTを活用した子どもたちの創造性あふれる作品が多数応募されています。今年は、作品の完成度だけでなく、自分やまわりの「しあわせ」や「これからの社会」を考え、作品に込めた思いや願いも大切に審査を行います。応募の詳細や過去の優秀作品は特設ホームページをご覧ください。子どもたちならではの豊かな発想と、これからの社会への思いを楽しみにしています。

特設 HP はこちら

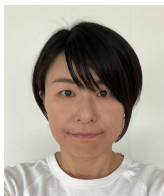


Topic 03 授業紹介

生徒指導問題解決法Ⅰ

生徒指導上の問題を解決するためには、ケース会議を開く必要があります。私自身、現場で児童と向き合う際、「どうすれば児童がわかってくれるのだろうか。」「なぜあのような行動をとるのだろうか。」と悩むことが多々あります。この講義では、「PICAGIP」という集団カウンセリングの手法を学びます。

「PICAGIP」には2つのルールがあります。「メモを取らない」「批判しない」というルールです。この2つのルールがあることによって、事例提供者は、気持ちよく自分の悩みを話すことができ、心が落ち着く感覚を覚えることができます。生徒指導で悩んでいる教師にみんなて寄り添うことは、学校現場においてはもちろん、様々な場面で大切にしなければならないことだと感じます。



PI 池田 瞳

Topic 04 研究紹介

中学校における不登校生徒の居場所づくり

一校内の別室運営を中心にー

不登校生徒の校内での安心できる居場所づくりを目的に、多目的室を活用した実践に取り組んでいます。学習支援、運動、調理、創作、コミュニケーション活動など、多様な選択肢を設ける事で、生徒が自分のペースで学校生活を送ることができる環境づくりを目指しています。また、校内の教員や大学生ボランティアとの協働に加え、地域・行政・高校との連携を図りながら、市内他校の不登校支援の実践を訪問調査し、支援の在り方を検討しています。さらに、研究と実践の往還を通して、校内の居場所づくりの効果と課題を明らかにしながら研究を進めています。



P2 岩佐 祐子